

下田地区におけるカヌーコースの設置について

問 現状と今後の展開はどうか。
答 練習会場として整備をすることは財政的な負担等難しい。

仕掛け絵本コンテストについて

問 どのような進展になっているか。
答 平成28年1月には実行委員会を立ち上げ、28年度には実施したい。

吉ヶ平自然体感の郷について



吉ヶ平自然体感の郷

問 今年の総括と今後の取り組みを問う。

答 プレオープンに2550人来場、今後道路の安全対策、飲食物の提供・周辺整備を進める。

市道大浦山手線(道心坂)の改良について

問 日交通量5000台の幹線道路である。県道への移管と改良の予定は。現在県道と市道のダブル認定、懸案課題の解決後に県道で改良する予定。



市道大浦山手線(道心坂)

電気自動車の普及促進について



栄パーキングエリアの急速充電器

問 今後どのように取り組んでいくのか。

融雪ヒーターが設置された。調理場周りの追加工事も行われるが、設計に問題があったのでは。

答 降雪防止工事は、当初から大屋根と非常階段に融雪ヒーターを設置する予定だった。しかし、非常階段の融雪ヒーターの説明を全く行わず議決を頂いてしまった。深くおわびしたい。

体育文化センター閉鎖の対応について

問 耐震診断の結果を11月30日に発表した後、翌日12月1日から原則利用中止となった。もう少し期間を置いてから行うべきではなかったか。
答 地震がいつ起こるか分からない中で利用者の生命を守るためにとった措置。

ものづくり系高等教育機関の設置について

問 大学を取り巻く環境が厳しい。県立高校削減案も出される中、市が大学を新設あるいは誘致することに非常に懸念を持っている。現在の進捗状況はどうか。
答 看護系高等教育機関が先行し、ものづくり大学は設置、誘致について、まだ結論に至っていない。

答 充電施設を道の駅2カ所(漢学の里・燕三条地場産業振興センター)に設置する。今後は状況を見ながら検討。

問 市の施設に与えた損害の賠償
答 無償管理に伴う損害賠償は。関係者と市で協議し、ケースバイケースで判断する。

市役所職員の時間外勤務について

問 現状と従事内容・代休管理を問う。
答 国勢調査等もあり削減目標達成は難しい。代休の管理は徹底する。

再任用職員について

問 現状と今後の方向性は。
答 今年度の退職者から選考により2年間となる。再任用職員の活用より新規職員や人材育成を重視する。

三条市道の維持管理、改良についての把握に市民ニーズを把握し計画的に実行していくのか?

問 今後、どのようにやっていくのか? ニーズ把握の仕組みと件数はどうか?
答 維持管理業務を包括的民間委託に

TPP大筋合意と当市の今後の取り組みについて

問 三条市の経済活動への影響と対応についてはどうか。
答 三条市を含む稲作主体地域は、米が大きく影響されると認識。国別枠の輸入量相当の国産米を国が備蓄米として買い入れるとしている。国の具体策を引き続き注視していく。

市長が視察したロシア市場の感触はどうか。

答 ロシア市場は小口取引はかなり可能性があると認識している。販路開拓により力を入れていくべき領域と考える。

子育て支援の推進について

問 子育て中のがん患者支援についてどうか。
答 がん患者の子どもの心のケアは、子どもの育ちサポートセンターで対応する。がん患者に特化した支援はないが全国的課題の一つで、今後の動向等を注視していく。

学校教育のICT導入について

問 電子黒板など今後の環境整備はどうか。

移行すべく検討している。市道の整備に関する要望は自治会長協議会から毎年1回まとめた形で頂いており、今年度は100件を上回り、個別の要望は50件程度頂いている。また、破損等の補修については、危険性の高いところから順次補修をしている。

道路の整備の優先順位、評価基準を策定することが効果的、効率的な道路整備の実現を図り、併せて実施箇所決定プロセスの透明化につながる。現在、建設課において検討を進めているが今しばらく時間を要する。

諸橋轍次記念館について



諸橋轍次記念館の玄関ホール

問 日中友好に貢献した博士をアピールすることは大切、見解はどうか。
答 博士の功績を記念し、伝承するために記念館がある。漢学の里で日中交流の場として位置付け、さらなる

答 国の調査によると8割の児童生徒がICTを使った授業を肯定的に評価している。今後も整備を進める方向である。



大崎小学校コンピューター教室

制度融資の改善を

問 中小企業庁は信用保証の保証率80%からの引き下げを検討し始めた。中小企業への金融支援を排除する危険性が高いので反対すべきだ。消費税を価格に転嫁できない小規模事業者は64%に上る。消費税納入のための運転資金も制度融資の対象にすべき。
答 保証協会の保証率引き下げについては国の推移を見守っていききたい。消費税は消費者からの預かり金なので、市の税金を使う制度融資の用途とするのは適当でない。

一学区二校の二連の追加工事について

問 9月補正で議決された落雪防止対策工事に、全く説明のないところに

さわしい事業を展開する必要があり。新潟総領事館とも対話を続けて、視野の広い取り組みをしたい。中国人観光客の受け入れについて、展示品の説明はどうか。
答 博士の生い立ちや業績を紹介する中国語版のDVDの上映や施設パンフレットなどがあるが、全ての展示品に対応はしていない。観光の視点から関係部署と連携しながら、今後検討したい。

高齢者用肺炎球菌ワクチンについて

問 肺炎は日本人の死因第3位。昨年10月から定期接種が始まった。接種状況はどうか。
答 平成26年度実績では対象者6615人に対し接種者3389人、接種率51.2%。今年度は10月末で接種率27.4%。
問 対象者への丁寧な周知と接種していない人への再通知が必要ではないか。
答 年度当初、対象者全員に個別通知をしていることから、ホームページや来月3月1日号の広報さんじょうでお知らせしたい。